

泡消火設備試験結果報告書								
試験実施日 年 月 日								
試験実施者								
住 所								
氏 名								
印								
用 途	()項			構 造				
延べ面積	m ²			階 数	地上	階 地階		
	固定式 (全域放出方式 局所放出方式)			移動式				
試 験 項 目				種別・容量等の内容		結果		
水	源	水源の種類・構造		_____				
		水 量		m ³ (縦 m横 m有効深さ m)				
		吸水障害防止措置		有 ・ 無				
		給 水 装 置		_____				
		耐 震 措 置		有 ・ 無				
設 置 場 所								
外 観 試 験	加 圧 送 水 装 置	ポン プ を 用 い る も の	ポ ン プ の 仕 様		製造者名		定格吐出量 l/min	
					型式		製造番号	
			電 動 機 の 仕 様		製造者名		種別 型電動機	
					型式		定格電圧 V	
					製造番号		定格電流 A	
			ポン プ ・ 電 動 機		設置状況		_____	
	接 地 工 事				種接地			
	配 線				_____			
	潤 滑 油				_____			
	水 温 上 昇 防 止 の た め の 逃 し 装 置		配管・バルブ類		管の呼び A			
			オ リ フ ィ ス 等		流過口径 mm			
性能試験装置の配管・バルブ類		_____						

試験項目			種別・容量等の内容	結果			
外 観 試 験	加 圧 用 送 水 装 置	ポ ン プ	材 質	鋼板製・合成樹脂製			
			水 量	ℓ			
			呼 水 装 置	溢水用排水管	管の呼び	A	
				呼 水 管	管の呼び	A	
				補 給 水 管	管の呼び	A	
				減水警報装置	フロートスイッチ・電極		
		制 御 装 置	設 置 場 所				
			制 御 盤	————			
			予 備 品 等	————			
			接 地 工 事		種接地		
		圧力計・連成計	設 置 位 置	————			
			性 能		級		
		減 圧 措 置			有 ・ 無		
		起 動 装 置	直 接 操 作 部				
			起 動 用 水 圧 開 閉 装 置	起 動 用 圧 力 タ ン ク	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器		
				タ ン ク の 容 量	ℓ		
				配 管 ・ バ ル ブ 類	管の呼び	A	
			自 動 式 起 動 装 置	閉鎖型スプリンクラーヘッド	————		
				自 動 火 災 感 知 装 置	————		
			手 動 式 起 動 装 置	設 置 場 所 等	————		
				設 置 高 さ	床面からの高さ	m	
				構 造	————		
				表 示	————		
		流 水 検 知 装 置			————		
		高 架 水 槽 を 用 い る も の	構 造				
			内 容 積 ・ 落 差	m ³	m		
			配 管 ・ バ ル ブ 類	————			
水 位 計	————						
圧 力 水 槽 を 用 い る も の	種 類 ・ 構 造	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器					
	内 容 積 ・ 有 効 圧 力	m ³	MPa				
	自 動 加 圧 装 置	有 ・ 無					
	配 管 ・ バ ル ブ 類	————					
	水 位 計 ・ 圧 力 計	————					
耐 震 措 置			有 ・ 無				

試 験 項 目			種 別・容 量 等 の 内 容							結 果	
外	設 置 状 況										
	配管・バルブ類	機 器	配 管	_____							
			バ ル ブ 類	_____							
			吸 水 管	_____							
			フ ー ト 弁	_____							
	防 食 措 置		有 ・ 無								
	耐 震 措 置		有 ・ 無								
	電 源	常 用 電 源		V							
		非 常 電 源 の 種 類		専用受電・自家発電・蓄電池・燃料電池							
	観	放 射 区 域 又 は 防 護 区 域 の 数 及 び 設 定 状 況		階							—
放 射 区 域 等 の 数											—
発 泡 方 式 (高発泡・低発泡)											
設 定 状 況											
試	泡放出口	設 置 方 法	配 置 等	_____							
			配 管 へ の 取 付	_____							
			取 付 方 向	_____							
	機 器	泡 へ ッ ド	_____								
		高発泡用泡放出口	_____								
験	制 御 弁		設 置 場 所 等	_____							
			設 置 高 さ	床面からの高さ						m	
			構 造	_____							
			表 示	_____							
流 水 検 知 装 置 ・ 圧 力 検 知 装 置		設 置 場 所 等	_____								
		種 別 ・ 口 径	_____								
		減 圧 警 報	_____								
		構 造 ・ 性 能	_____								
一 斉 開 放 弁	起 動 操 作 部	設 置 場 所 等	_____								
		設 置 高 さ	床面からの高さ						m		
	作 動 試 験 装 置		_____								
	構 造 ・ 性 能		_____								

試 験 項 目			種 別・容 量 等 の 内 容							結 果		
外 観 試 験	自動警報装置	音響警報装置	_____									
		火災表示装置	_____									
	防護区画の開口部 (高発泡に限る。)	開口部の措置		_____								
		自動閉鎖装置を設けない開口部		_____								
		開口部の構造										
	貯蔵槽等	貯蔵槽	設置場所									
			機器	消火剤の適合性	_____							
				貯蔵量	ℓ							
				圧力計の指示	MPa							
		混合装置	設置場所									
			混合方式									
		泡消火薬剤	種 別	たん白・界面活性剤・水成膜								
			性 能	希釈容量濃度							%	
	耐 震 措 置		_____									
	泡消火栓等	泡消火栓	泡消火栓の設置個数	階								
				設置個数								
			設置場所		_____							
			周囲の状況・操作性		_____							
			開閉弁設置高さ		床面からの高さ							m
			ホース接続口		_____							
泡消火栓箱		周囲の状況		_____								
		設置状況		_____								
		材 質 等		_____								
		表 示 灯		_____								
		表 示		_____								
ホース・ノズル		ホース(結合金具を含む。)		_____								
		ホース接続口		_____								
		ノズル		_____								
		結 合 状 態		_____								
	収 納 状 態		_____									

試 験 項 目			種 別・容 量 等 の 内 容							結 果	
機 能 試 験	加 圧 送 水 装 置 を 用 い る も の	呼 水 装 置 作 動 試 験	減水警報装置作動状況		底面からの高さ				cm		
			自動給水装置作動状況		————						
			呼水槽からの水の補給状況		————						
		制 御 装 置 試 験	起動・停止操作時の状況等		————						
			電源切替時の運転状況		————						
		起 動 装 置 試 験	ポンプの起動状況等		————						
			起動表示の点灯状況		————						
			起動用水圧開閉装置の 作 動 圧 力		設定圧力				MPa		
		ポ ン プ 試 験	運 転 状 況		————						
			※縮切り運転 時の状況	縮切揚程					m		
				電 圧					V		
				電 流					A		
	※定格負荷運 転時の状況		定格揚程					m			
			電 圧					V			
			電 流					A			
	※ 水 温 上 昇 防 止 装 置 試 験		逃し水量				l/min				
	※ ポンプ性能試験装置試験		表示値の差				ℓ				
	高 架 水 槽 を 用 いる も の	作 動 試 験	給水装置作動状況		————						
		静 水 圧 測 定		最下位	MPa	最上位	MPa				
	圧 力 水 槽 を 用 いる も の	作 動 試 験	給水装置作動状況		————						
自動加圧装置作動状況			————								
静 水 圧 測 定		最下位	MPa	最上位	MPa						
配 管 耐 圧 試 験			試験圧力				MPa				
手 動 式 起 動 装 置 試 験			————								
流 水 検 知 装 置 ・ 表 示 等			————								
総 合 試 験	泡放射試験 (低発泡によるもの)	固 定 式	放 射 区 域								
			起 動 性能等	自動火災感知装置による起動							
				手動起動装置による起動							
			ヘッドの放射状況								
			放 射 圧 力 (MPa)	最 高							
				最 低							
			希 釈 容 量 濃 度 (%)								
発 泡 倍 率 (倍)											

試 験 項 目			種 別・容 量 等 の 内 容								結 果		
総 合 試 験 備 考	泡放射試験 (低発泡によるもの)	移動式	25 % 還 元 時 間 (sec)										
			放 射 区 域								—		
			放 射 状 況										
			放射量の測定	放 射 圧 力									MPa
				放 射 量									ℓ/min
			希 積 容 量 濃 度										%
			発 泡 倍 率										倍
			25% 還 元 時 間										sec
	泡放射試験 (高発泡によるもの)		放 出 区 域									—	
			起動性能等	自動火災感知装置による起動									
				手動起動装置による起動									
			自動閉鎖装置の作動状況										
			放 射 状 況										
放出停止措置による停止状況													
放射圧力の測定 (MPa)													
非常電源切替試験		自 家 発 電 設 備	—————										
		蓄 電 池 設 備	—————										
		燃 料 電 池 設 備	—————										
備考													

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 ※印の試験は、「加圧送水装置の基準」(平成 9 年消防庁告示第 8 号) に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
- 6 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。